

修了生の活躍事例

能開大で叶った夢、掴んだ原動力

工業系の進学先を探している中で、九州職業能力開発大学校に出会いました。学校見学会で、先生にマシニングセンターでネームプレートをつくってもらいました。速さと綺麗さにびっくりしたことを鮮明に覚えています。とにかく多くの機械に触れたいという夢をもって入校しました。実際、能開大は機械の豊富さが魅力で、実践を重視した学生生活を送ることができました。まさに、自分の夢が叶った学生生活でした。

学生生活で印象深いのは、旋盤加工です。腕が試される機械なので、必死に練習したことが良い思い出です。加工が上手で無駄のない作業をする同級生を見て感じた「うまくなりたい」という思いは、社会人になった今も自分の原動力となっています。

金型研究会主催 設計コンペに出場

設計コンペに挑戦する機会をいただきました。設計コンペでは、先輩の指導のもと、1回目2位、2度目の挑戦で優勝することができました。

1回目の時は、CAD操作を上司や先輩から手取り足取り教えてもらう状態でした。2回目になったときに、上司、先輩の支えを感じるとともに、自分ひとりで出来ることも増えたと実感することができました。



シバタ精機株式会社 製造部金型課

安在 理久 さん (24)

九州職業能力開発大学校
専門課程 生産技術科

令和3年度 修了



設計にも挑戦。社会人としてのこれから

現在、金型の設計を勉強しています。自分の作業で図面ができていくわけですから、緊張、責任を今まで以上に感じています。複数の人に設計に関して説明をするので、説明力も鍛えています。まだまだ勉強が足りないと感じる日々ですが、よりいい方法はないか、学んだことは自分のものにしたいという気持ちで仕事に取り組んでいます。私もいつか後輩ができたなら、技術も生活も手本とされる人になりたいです。手本として示しながら、上司、先輩を追う立場も大切に、謙虚に社会人としての経験を積んでいきたいです。

就職先企業での活躍

安在さんの業務

製造部金型課に所属しており、高精度加工用のマシニングセンターによる精密加工に創意工夫を加え、機能的な生きた金型の製作に取り組んでいます。現在、金型の設計も勉強中です。

実は「清掃リーダー」として、入社1年目の後輩たちのまとめ役としても活躍しています。

清掃リーダー安在さん▶



シバタ精機株式会社 (福岡県朝倉市)

シバタ精機は1980年設立、今年45周年を迎えました。「人々の暮らしを豊かにする、機能的で美しい道具を作りたい」、それが創業以来の当社の命題です。

製造しているのは、大小さまざまな金型のほか、精密カスタムプレートや金属部品の精密加工品です。当社の特徴は、営業から設計、材料調達、製造までを一貫して自社で行っている点です。これにより高品質・高精度な製品を、より安く提供することができます。お客様の希望納期に合わせて製造できるのも大きな強みです。効率の追求だけでなく、人材育成にも注力しています。『真心こめたものづくり』を社是に掲げ、ひとりひとりの技術力はもちろん、お客様に喜ばれる提案力の向上を図り続けています。

上司からの声 製造部金型課 係長 中村 悦士 様

沖縄職業能力開発大学校 応用課程
生産機械システム技術科修了 (平成15年度修了)

安在君は、非常にまじめな人です。一つ一つの仕事を丁寧にこなしています。汎用機をそつなくこなすところは、能開大ならではの学びが活きていると感じます。

今は設計を勉強中ですが、一番はお客様の声を、そして現場の声を取り入れられる設計者になってほしいです。どうやったらお客様の要望に早く応えられるか、どうやったら加工者が作りやすいか、どうやったら低コストでできるか、常に考えられる設計者になってほしいと思います。

